

再開発は簡単にできるものだと思っていましたが、今回の演習をやってみて、再開発をするにはかなりの時間がかかることを知りました。今回は時間が無くてできませんでしたが、換地や用途区域の決定などの他に、評定指数の算出や角地加算、袋地修正などの修正・加算があり、これに住民説明などがあると想像すると短期間ではできない事業なのだと思います。

私は計算がものすごく不得意なので、計算が多すぎて頭が真っ白になったときもありましたが、計算要領をつかんだら大体出来るようになりました（私の性質です）。これをプロは短時間でやるということはすごいことなのだと演習をやっていて感じました。

演習の感想

この演習では、日本の区画整理のことを学びました。日本は、区画整理がすごく難しく、土地がとにかく小さく減歩率を高くすると、土地が小さくなるということで反対意見が出てしまう。減歩率を低くすればいいと思うが、そうすると区画整理をしても意味がなくなってしまうし、すごく難しいと思った。

今回の演習で区画整理をやったが、利益がないものでしたが、本当は利益をだせるように区画整理をしなくてはならない。土地もありえないぐらい小さいものや、道路（私道）になっている土地もあって、区画整理をした時、割り振りがよくわからなくなった。このことを仕事にしている人はすごく苦労していると思った。

学校ではなかなか習えない区画整理をして、すごく難しいことばかりだったけれど、出来上がってみてすごく面白いし、楽しかった。

感想

最初まちづくりと聞いて、地元で橋が出来て道幅を広くしていたり、大型のショッピングモールが建設されているなど、どのように土地を集めたりしているのか気になっていました。これから各地で市街化・都市化が進むにつれ必要な知識だと思いました。

授業の始めでは、配布されたプリントがマンガになっていたため初めて聞く単語も多かったですが、わかりやすかったです。

でも、山前駅北口周辺の換地設計をする前に練習で換地設計をしたが、そこでも新しい単語がでてきたり、計算するにも新しい記号、公式があったりなど正直大変でした。計算は好きなので自信がありました。面積を求める時など、何度か計算ミスを出してしまうなど正確差にかけてしまいました。それと、街区図に土地を当てはめる時にも、なかなかピッタリとはまらなくて大変でした。また、整理後には公園を設けたり保留地を設けたりなど、ただ道を綺麗に広くするためだけではなく、住みやすくするための工夫をしなければならぬとは知りませんでした。

今回の演習の課題の山前駅北口の換地設計をする時には、練習でしていた時みたいにうまくいかず、実際の地図なので道や家がゴチ

ャゴチャしていて換地前の面積を求める時は大変だったし、きちんと計算したが正確に求められているか不安になりました。また、換地後の住宅用地に土地をあてはめている時も、細長くなってしまったりしたので、1本道を通すとか1区画の土地をもう少し狭めていかななくてはならないと思いました。

駅前の換地ということで駅前の広場を造る時にも、ただ広場をつくればいいと言う訳でなく、ちゃんと型や面積も決まっていることを知りました。また今回の演習で自分は、駅前のロータリーを一方通行にして駅前の混雑を避けようと工夫しました。

今回の設計演習を通して、どうやってまちづくりをしていくか少しわかりました。自分は公務員志望なので、このような演習はプラスにもなってよかったと思いました。

5. 演習の感想

今回の演習では自分の理想通りに計画を行い、計画図を描いてみたが、減歩率が非常に大きく実現はあまりにも難しい開発計画となってしまった。やはり地元住民にも理解を得られる実現可能な開発計画、区画整理を行うには長い経験と多くの努力が必要になると改めて思った。

計画自体は成功とはいえないが、演習を行ってみて、「この地区には何が足りないだろう。どんなものを造ればよりいい地区になるだろう。」などを考えながら計画図を描いてみることはとても楽しかったし、やりがいを感じた。

また、専門的な知識も多く、難しく感じる点もあったがマンガを用いた資料などで講義してもらえたので全体を通して楽しくわかりやすかった。

過小宅地は区画整理を行う際に利用しづらい土地になりやすく、整地後の見た目もあまりよくないので扱いづらい土地だと思った。日本では土地の筆数が多く細かく区切られた土地も多いので、区画整理を行う際にはそのような過小宅地をいかにして所有者の納得がいく形に整地することができかが難問かつ重要だと感じた。

都市環境設計演習 感想レポート

設計演習の始めは「難しいなあ」と思ったのですが、授業を受けていくにつれ、難しいのは変わらなかったのですが、面白く感じられるポイントもでてきて、設計演習の授業がけっこう好きになってきたように感じました。他の授業ではやらないような事をいろいろと経験できて、とてもためになった気がします。しかし、最後の山前駅北口広場の設計演習では、設計の段階で道幅のとりすぎや、用水と道のとり方のミスなどがとても目立ってしまう結果になってしまいました。区画整理も思うように行かず、トレース紙に一部の整理後の結果を入れるにも完全にはまりきるものがなく、とても細い土地や、形の悪い土地、道を挟んで二つの土地などになってしまいました。公共減歩率も30%とかなり高い結果になってしまいました。今回の授業で感じたのは、どれだけ町を発展させるかだけでなく、町の人が納得のいくような明確な理由のある街づくりが必要だということと、理想だけではなかなか実現できないということです。でも私の考えは、少しでも町自体がきれいで、ヨーロッパの町並みのような、その町自体が景色の一部のような遺産都市になるような町を創ってみたいと思っています。夢でしかないけれど、造るのだったら夢みたいな町を造りたいです。そのためには、もっと区画整理の勉強などをしないといけないんですが・・・大変です。今回の授業のように、楽しい気持ちで勉強できるなら続けていきたいと思っています。ゆっくりでも

自分のペースでやっていきたいと思っています。